

2011年10月

各位

社団法人 新化学技術推進協会 (JACI)
グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク

第11回 (2011年度)

グリーン・サステイナブル ケミストリー賞 経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞

拝啓、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当ネットワークの活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

グリーン・サステイナブル ケミストリー ネットワーク (略称: GSC ネットワーク) では、2001年度より我が国におけるグリーン・サステイナブル ケミストリーの推進に貢献のあった個人、法人、任意団体にグリーン・サステイナブル ケミストリー賞 (略称: GSC 賞) をお贈りし、その栄誉を称えて参りました。特に優れた業績には経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞をお贈りしております。経済産業大臣賞は産業技術の発展に貢献した業績に、文部科学大臣賞は学術の発展・普及に貢献した業績に、環境大臣賞は総合的な環境負荷削減に貢献した業績に、それぞれ授与されます。

今般、第11回GSC賞の候補者を募集致します。奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。

申請書様式、表彰規程、第1～10回GSC賞受賞業績等についてはGSCネットワークのホームページ (<http://www.gscn.net>)、【表彰】のページに掲載しておりますのでご参照願います。

敬具

<GSCネットワークを構成する団体>

(財) 化学研究評価機構 (公社) 化学工学会 (一社) 化学情報協会
(一財) 化学物質評価研究機構 (社) 近畿化学協会 ケイ素化学協会
合成樹脂工業協会 (社) 高分子学会 (社) 高分子学会高分子同友会 (独) 産業技術総合研究所
(一社) 触媒学会 石油化学工業協会 (公社) 石油学会 (財) 地球環境産業技術研究機構
(社) 電気化学会 (公社) 日本化学会 (一社) 日本化学工業協会 (社) 日本ゴム協会
(公財) 日本生産性本部 (公社) 日本セラミックス協会 (社) 日本電子回路工業会
(社) 日本塗料工業会 日本バイオマテリアル学会 (社) 日本分析化学会 (公財) 野口研究所
(一財) バイオインダストリー協会 (社) プラスチック処理促進協会 (社) 有機合成化学協会

GSCネットワーク事務局: <http://www.gscn.net/> E-mail: gscn1@jaci.or.jp

募 集 要 項

1. 対象となる業績のカテゴリー

カテゴリー (A)

化学製品の全ライフサイクルを通じて投入される資源・エネルギーの総量を低下させる、再生不可能な原料を再生可能なものに置き換える、危険性、有害性を低減した製品やリスク・副産物発生を極力排除した製造技術を創成する、あるいは使用後の最終廃棄物の量を削減することなどによって、製品の製造過程・使用形態・使用後の処理過程における人の健康・安全と環境に対する負荷を低減させようとする化学技術関連分野において独創的な研究開発を行い、GSCの推進に大きく貢献したもの。

カテゴリー (B)

新規概念・手法の開拓、あるいは新規現象の発見または解析・解明であって、上記カテゴリー (A) の技術開発の飛躍的展開を促す科学的基盤の分野において独創的な研究を行い、GSCの推進に大きく貢献したもの。

カテゴリー (C)

GSCの技術開発・科学研究の成果の普及、関連する社会制度の実現、あるいは教育・啓発等において顕著な活動を行い、GSCの推進に大きく貢献したもの。

上記カテゴリー (A) に該当する技術・製品の例を以下に示す。

- ① 製品の製造から廃棄までの過程において使われる資源、エネルギーを削減する技術 (合成法、代替溶媒、分離、プロセス、バイオ技術、触媒、シミュレーション技術、等)
- ② 有害性、危険性を低減し、副生物、廃棄物を削減する技術 (代替溶媒、合成法、プロセス、バイオ技術、触媒、リサイクル、浄化・修復、等)
- ③ 再生可能な資源を利用する技術および製品 (バイオマス利用、新エネルギー、等)
- ④ エネルギーの削減および環境負荷の低減に貢献する製品およびシステム

2. 応募資格

- (1) わが国におけるGSCの推進に貢献のあった個人、法人および任意団体とし、複数の個人、法人および任意団体による応募も可とする。但し、1業績に対して5 (個人・法人・団体) を上限とする。
- (2) GSCネットワークを構成する団体の会員であることを要しない。
- (3) GSCネットワークが開催したGSCシンポジウムでポスター発表した実績がある業績であること。但し、次回GSCシンポジウム (2012年6月12～13日予定) においてポスター発表するものも可とする。
- (4) 研究や開発活動の終了から概ね5年を経過していない業績であること。但し、評価が定まるのに長期を要する業績で、選考時点から5年以内に顕著な評価を受けるに至った業績も可とする。
- (5) GSCシンポジウムでの受賞者講演、ニュースレターへの寄稿等、受賞に関連するGSCネットワークの諸活動に協力する意志を有すること。

3. 表彰の件数

5件以内とする。

4. 顕彰方法

- (1) 賞記および盾をもって表彰する。表彰は、次回GSCシンポジウム(2012年6月12～13日予定)にて行う。
- (2) 受賞業績をGSCネットワークのホームページやニュースレター等を通して広報する。
- (3) 次回GSCシンポジウム(2012年6月12～13日予定)において受賞者講演を行う。

5. 応募要領

- (1) 自薦、または個人、団体による推薦とする。
- (2) 応募提出資料一覧

- ① 申請書 (連名者毎に各人の役割・分担を明記する) (様式1)
- ② 業績の内容を記した文書 (A4縦用紙にて横書き2,000字程度)
- ③ 業績の要点を表す説明図 (A4縦用紙にて1～5図程度)
- ④ 自己評価シート (様式2)
- ⑤ 業績に関連する主要論文・主要特許のリスト (②に引用されたものとする) (様式3)
- ⑥ ⑤で最重要な論文・特許の写し (各3件以内)
- ⑦ 使用する主要化学品の安全に関する情報 (当該技術においてキーとなる化学品および特殊な化学品に関するMSDS、等) (様式4)
- ⑧ ライフサイクルアセスメント(簡易型ライフサイクルデータ作成用シートによる) (様式5)

- (3) 必要提出資料

対象業績のカテゴリーに応じて以下の資料を提出する。

カテゴリー(A)に関する応募者:

- ①、②、③、④のシートA、⑤、⑥、⑦、⑧

カテゴリー(B)に関する応募者:

- ①、②、③、④のシートB、⑤、⑥、⑦

カテゴリー(C)に関する応募者:

- ①、②、③、④のシートC、⑤及び⑥の論文等

注1) 様式1～5は、GSCネットワークのホームページ(<http://www.gscn.net>)、【表彰】からダウンロードし、使用して下さい。

2) 紙資源、炭酸ガス等の環境負荷低減に資するため、資料は論文等も含め電子情報を電子メールで送付して下さい。電子情報化できない場合は、ハードコピーも可とします。

- (4) 電子メールでの応募締切り

2012年1月10日(火) 17時 必着

- (5) 応募書類の提出先

(社)新化学技術推進協会 GSCネットワーク事務局 gscn1@jaci.or.jp

【ハードコピー送付の場合】

応募締切り 2012年1月10日(火) 消印有効

〒102-0075 東京都千代田区三番町2三番町KSビル2F

(社)新化学技術推進協会 GSCネットワーク事務局

問い合わせ先

E-mail: gscn1@jaci.or.jp

TEL: 03-6272-6880 FAX: 03-5211-5920

6. 選考方法

- (1) 選考委員会を設け、選考を行う。
- (2) 選考委員会は一次選考委員会と二次選考委員会とからなる。
- (3) 一次選考委員会はGSCネットワークを構成する団体から推薦された技術専門委員からなり、書類審査による選考を行い、候補業績を二次選考委員会に推薦する。
- (4) 二次選考委員会は各界の有識者よりなり、応募者によるプレゼンテーションと質疑による選考を行い、受賞業績を選考する。

7. 選考基準

以下の7項目の着眼点に基づいて応募業績の評価を行う。

グリーン度	新規性・独創性	技術・研究の発展性
経済性・実現性	社会的インパクト及び波及効果	
科学的・学術的妥当性	想定されるマイナス点や逆効果がないか	

グリーン・サステイナブル ケミストリー (略称：GSC) について

GSCの定義

人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学および化学技術

GSC活動の指針

化学製品の設計から原料の選択、製造過程、使用、リサイクル・廃棄まで、製品の全ライフサイクルを見通し、地球環境と生態系への負荷を小さくし、安全・安心で豊かな持続可能な社会を実現する化学技術の確立と製品の創出を目指します。

GSCの事例

- 1) エネルギーと資源の消費量を低減する化学技術および製品
 - ・技術：高選択的触媒反応、バイオミメティックの合成プロセスなど
 - ・製品：軽量化による省エネルギー製品など
- 2) 副生成物や廃棄物の発生量を低減する化学技術および製品
- 3) 汚染・有害物質の排出を抑止する化学技術および製品
- 4) 環境負荷を低減する分離・精製・リサイクルのための化学技術
- 5) 温室効果ガスの発生量、環境への放出を低減する化学技術および製品
- 6) 枯渇資源(エネルギー、希少資源)の依存度を低減する化学技術および製品
 - ・代替エネルギー資源の活用(植物由来、自然エネルギーなど)
 - ・エネルギー(電力)の貯蔵・活用
 - ・希少資源の回収・活用と代替資源の活用
- 7) GSCに関する評価方法・ライフサイクルアセスメントの確立と普及